



こまくさ

平成30年
1月22日(月)
No.43

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!~

先週からスキー授業が始まりました。お手伝いいただいている皆様方には大変ご難儀をおかけしております。ありがとうございます。また、引き続きスキー教室もあります。どうぞご協力お願いいたします。

開校当時、スキー場での学習は1回だけでしたが、国内屈指のスキー場が地元であり、たった1回の機会ではもったいないという声が学校評価に複数記載されていました。校内で検討し、3年生以上は、体育をまとめどりして、体育の時間として昼から出かけ、スキー授業を行うことにしました。他校は、移動に時間がかかるために計画できませんが、30分程度で移動することができること、バスを市で出してくれることなどもあり、それ以降生保内小学校は地の利を生かして年2回スキー場に行っています。スキー授業は、体育の時間でスキーを行うので、技術の向上を大きなねらいとして行っています。それに対してスキー教室は、培った技術を生かして、参加者同士協力して滑りを楽しむことが主なねらいになります。スキー授業は技術の伝達ができる方、スキー教室は一緒に楽しみ、安全を見届けられる方などを指導者をお願いしています。ご家庭の皆様方には、教室に参加できなくても板の手入れや道具の準備等手間がかかりますが、子どもたちは楽しみにしており、雪国でなければできないスポーツを身につける機会です。今後ご協力よろしくお願ひします。

今回は、読書感想文コンクール出品作品とフカインダーからのお手紙をお届けします。感想文の最初は、郡の代表として県のコンクールにも出品した4年の佐藤りあさんの作品です。



四年 S.
この本は小学校一年生のえみちゃんが、ある日黒猫を見つけて「よいいどん」と言って遊んでいたから「どん」という名前になり、えみちゃんと人間の言葉が話せる野良猫のどんが遊んだり不思議なことが次々に起こったりするお話です。この本を読もうと思っ

たきっかけは、私は猫が好きで黒猫という題名にひかれたからです。
一番心に残ったのは、えみちゃんどどんが出会った場面です。私は、どんが雨で濡れていてかわいそうだと思いましたが、えみちゃんがミルクをあげたり、体を拭いてあげたりお世話をしたのでとても心がほっとしました。
もう一つ心に残ったのは、どんとお友達の猫のとらをとみみとで算数をした場面です。どんとえみちゃんが楽しそうな様子が伝わってきました。他にかくれんぼやサーカスなどで遊んでいたけれど、私はどんと一緒に遊ぶならば手形でお絵かきをしたり、夜空を見ながら月と星の観察をしてすてきな思い出を作りたいなと思います。
でも、楽しいことばかりではありませんでした。ある日えみちゃんがどんをいつものように見つけるとどんが「フーッ」とうなったのです。

どんは、あっちに行っちゃえというしっぽの合図を出しました。えみちゃんは「どんの意地悪」と言って、走って帰ってしまいました。きつとショックだったのでしょう。

それからというもの、どんはえみちゃんの前に姿を見せなくなりました。私は、今まであんなに仲良かったのに急に冷たくされて、悲しいなと思いました。その後理由がわかりました。えみちゃんのお隣の家の人たちが、どんを追っ払ったのです。そのせいでどんは、人間のことが怖くなってしまったのではないかと思います。このことから人間が動物を怖がらせることはいけないと思います。

えみちゃんと初めて出会った時は、かわいい小さな猫だったけれど、えみちゃんの夢の中に結婚式を挙げているどんが出てきました。どんが大人になったのかなと感じて、この本はどんの成長を書いているような気がしました。

私の家では十八歳のおばあさんの猫を飼っています。名前はこうちゃんです。もしこうちゃんと会話することできたら、一緒に暮らしてお世話をしている私たちのことをどう思っているのか聞いてみたいのです。そして、私たちの家が好きかどうか話してみたいと思います。私が赤ちゃんだった頃の話も聞けたら嬉しいと思います。私は、これからこうちゃんに優しくしてあげたいし、こうちゃんは大切な家族なので最後まで飼ってあげたいです。

総合的な学習の時間や生活科に一生懸命取り組んでいると、地域の方はもちろん、他県の方とのつながりも出てきます。3年生は、妖精とのつながりも出来ています。

冬休み前のこまくさで、土屋和久さんとフカインダーが来校して3年生の授業に協力いただいた記事を載せました。そのお礼に、3年のS.さん、T.さん、C.さん、T.さん、T.さんに年賀とお手紙が届きました。おもてなし三兄弟のすてきな便箋にいただきました。

また、11月には、2年生が町探検で知り合った三重県の方からメールが届きました。合わせて紹介します。

《メール本文》

生保内小学校2年生の皆さんへ

私は、11月8日に田沢湖駅前の「そば五郎」さんのお店で一緒にそばを食べたむかいまさかずといいます。遠く離れた三重県から手紙を書いています。

テレビのニュースで、秋田県は寒くなったと言っていますが、お元気ですか。私たちの所はようやくイチョウの葉が、黄色くなってきました。

一緒にそばを食べながら、皆さんの元気いっぱいの声を聞き、おじさんも心の底から元気がわいてきました。どうもありがとう。

その時撮った写真を、1枚しかありませんが送ります。

これからますます寒くなりますが、元気いっぱい、勉強に運動に頑張ってください。

おじさんも、みんなからももらったエネルギーで頑張ります。

三重県明和町 M.

7月と12月に、1・2年生の保護者の皆様方に、我が子を見てどう思うかという生活科（1・2年）のアンケートをお願いしておりました。その結果「子どもたちが、家族以外の地域の人と接する機会があると思うか」「子どもたちが地域の有名なものに関心をもっているか」という項目が高まっていません。意外な結果でしたが、現実を受け止め、更に分析と研究を深めて対策をとっていきます。

土屋さんは、前にも記載したように神奈川県から移住してきた方です。また、向井さんは、このように三重県から観光に来て2年生とふれあい、連絡をしてくださった方です。一般の方が、子どもたちとふれあうことは、教師が思う以上に嬉しいことのようにです。応援団の方々も、同じようなお話をしてくださいませ。子どもたちも、地域で出会った方々とふれあうことで色々と考えを深め、育っていきます。今後も色々な方々とふれあうように計画を立てて学習を進めます。どうぞご理解とご協力をお願いします。

生保内小学校

千葉先生

3年生のみなさんへ

昨年は元気な子供たちと一緒に授業に参加できてうれしかったです。フカインダーも大喜びで今も時々思い出しています。

今年も生保内小学校のみなさんと一緒に授業ができればうれしいです。

また、仙北市のいろいろな発見や情報を教えて下さい。そして、全国の皆さんに仙北市のことを知ってもらえるように一緒にがんばりましょう！

今年もよろしくお願ひします。

オモテナシ三兄弟のお父さん 土屋和久

2018年1月12日

